学校番号	119

令和３年度　美術科

教科	美術	科目	ビジュアルデザイン	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザインとは、簡単に言えば、目的に合わせて何かを作ることです。なので、世の中のあらゆる人が作ったものはデザインされたものだと言えます。この授業では、身近にある様々なデザインを改めて鑑賞しながら、いくつもの分野のデザイン作品を実際に制作していきます。おそらくその過程で、身のまわりのあらゆるところにデザインがあることを実感をもって理解できると思います。

この授業を受け終わった後には、生活の様々な場面にあるデザインに興味を持ち、そこに隠れた意図、工夫や技術を感じ取り、さらに、自分だったらどんなふうにデザインして、人生をより便利に楽しくできるか想像するようになっていてくれればとても嬉しいです。

2　学習の到達目標

視覚的な伝達効果を主とするデザインについて、創造的な表現と鑑賞の能力を高める学習をする中で、美術やデザインを代表とする様々な人間の営みや自然の在り方から豊かな美的体験を得られる感性を引き出すとともに、主体的かつ自覚的に文化の発展に寄与する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	主体的・創造的にデザインの学習に取り組んでおり、デザインを主とする美術文化に対して理解と尊重の念を育んでいる。	目的や伝達機能を元に想像力を駆使して発想し、個性豊かな表現の構想を練っている。	表現の目的に合致した創造活動をするために、必要な感覚・知識・技能を身に付け、表現方法を工夫している。	デザインの文化について理解を深め、感性や想像力を働かせて価値や美意識を感じ取っている。
評価方法	授業中の様子 ワークシート 作品	作品	作品	ワークシート 授業中の様子

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	20本の気持ち×2	【デザインの基礎】 【平面・立体デザイン】 色面構成で気持ちを表す。 ・まずは、①形と感情の関係のワークシート、②アクリルガッシュの塗り方の練習および色と感情の関係のワークシート の2つを用いて、色面構成の下準備としての練習を行う。 ・画用紙に2つの長方形を作り、その内側をそれぞれ20本の線で分割する。 ・それぞれどんな気持ちを表すかを考えてアクリルガッシュで塗り分ける。		○	○		b:色の特性を理解した上で、表現したい気持ちを伝達できるよう画面を構成している。 c:画材の使い方を身に付け、丁寧に美しく色を塗っている。	作品 ワークシート
	ロゴスタンプ ～文字のデザイン～	【デザインの基礎】【鑑賞】 【平面・立体のデザイン】 自分の名前をロゴタイプとしてデザインし、それを消しゴム版に彫ってスタンプにする。 ・導入として様々なロゴタイプを鑑賞し、文字を図案化する際に考えるべきことや印象を強めるための工夫を考えさせる。		○	○	○	b:自分の名前を元に工夫して図案化している。 c:バランスよく整ったロゴを作った上で、丁寧に彫刻している。 d:様々なロゴを鑑賞することで文字への関心を高めている。	作品 アイデアスケッチ
2学期	グリーティングカード	【デザインの基礎】 【平面・立体デザイン】 モダンテクニックを用いて様々な色面の紙を作り、それらをコラージュしてグリーティングカードを作る。	○		○		a:意欲的に多くの技法に挑戦し、様々な絵肌を積極的に発見している。 c:伝達内容に適した色と質感の組み合わせを工夫し、美しく丁寧に作っている。	作品 活動の様子

2学期(続き)	建築デザイン ～紙で城を建てる～	【デザインの基礎】 【平面・立体デザイン】 【図法、表示法】【鑑賞】 画用紙で自分の建てたい城の縮小模型を作る。 ・各文化の資料を見て、自分の作りたい城のイメージを膨らませ、それを図にする。 ・画用紙で幾何立体のパーツを作る。 ・パーツを組み合わせて模型を完成させる。		○	○	○	b:想像力を働かせて、個性的で魅力的な立体デザインを構想できている。 c:計画的かつ丁寧に制作し、紙で美しい立体を作っている。 d:様々な文化の城を鑑賞し、それぞれに特徴的な部分と共通する構造を感じ取っている。	作品
3学期	ファッションデザイン ～ハレの日の装い～	【デザインの基礎】 【平面・立体デザイン】 「ハレの日の装い」をテーマに、「誰がどんな時に着るか」という設定から発想して、服装一式をデザインする。 ・人体の線画を切り分けたパーツを組み合わせて紙に貼り付け、任意のポーズを取った平面マネキンを作る。 ・布の生地に見立てた色紙を服装のパーツごとに切り抜いて、平面マネキンの上に貼り合わせることで、服装のデザインを表現する。		○	○		b:設定から想像を広げて、目的・機能・状況に合致する魅力的で個性的な服飾をデザインしている。 c:効果的な色の組み合わせを用いて、丁寧に美しく仕上げている。	作品
	ドリンクのパッケージデザイン	【デザインの基礎】 【平面・立体デザイン】 【図法、表示法】【鑑賞】 商品としての飲み物を考え、それを入れて販売するためのパッケージを製作する。 ・図を描いて構想を練る。 ・展開図を引いて図案を描き、彩色する。 ・展開図を組み立てて紙パッケージを完成させる。 ・完成作品は相互に鑑賞し、感想をワークシートにまとめて発表する。	○	○	○	○	a:パッケージデザインについて積極的に調べて考え、意欲的に制作を企画している。 b:想像力を駆使し、何を売りにして販売するのかなど、商品としての特性を構想している。 c:平面上の構成・立体としての形・色の特性・文字の扱い方・素材や技法の理解など、これまでに学んだ多様な造形要素への感覚・理解・技術を総合的に活用して完成度を高めている。 d:他の生徒の発想や技術を創造的に味わい、それらを尊重して自分の感じたことや考えたことを述べている。	作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。